

ロコアテープ

【この薬は？】

販売名	ロコアテープ LOQOA tapes
一般名	エスフルルビプロフェン / ハッカ油 Esflurbiprofen / Mentha Oil
含有量（1枚中）	エスフルルビプロフェン 40mg / ハッカ油 36.2mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経皮吸収型鎮痛消炎剤（非ステロイド性消炎鎮痛剤）と呼ばれるグループに属する貼り薬です。
- ・この薬は、炎症にかかわるプロスタグランジンという物質の産生を抑えることで、鎮痛、消炎作用をあらわすと考えられています。
- ・次の目的で処方されます。

変形性関節症における鎮痛・消炎

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・消化性潰瘍のある人
- ・重篤な血液の異常のある人
- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・重篤な心機能不全のある人
- ・重篤な高血圧症のある人
- ・過去にロコアテープに含まれる成分や、フルルビプロフェンで過敏症のあった人
- ・アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤などにより誘発される喘息発作）のある人、または過去にアスピリン喘息になったことがある人
- ・エノキサシン水和物、ロメフロキサシン（ロメバクト、バレオン）、ノルフロキサシン（バクシダール）、プルリフロキサシン（スオード）を飲んでいる人
- ・妊娠後期の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・非ステロイド性消炎鎮痛剤を長期間使用したことによる消化性潰瘍のある人で、この薬を長期に使用する必要があり、かつミソプロストール等による治療を受けている人
- ・過去に消化性潰瘍になったことがある人
- ・血液の異常のある人、または過去に血液の異常があった人
- ・出血しやすい人
- ・心機能異常のある人
- ・高血圧症のある人
- ・気管支喘息のある人
- ・潰瘍性大腸炎の人
- ・クローン病の人
- ・腎臓に障害のある人、または過去に腎臓に障害があった人、または腎臓を流れる血液量が低下している人
- ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬〔エノキサシン水和物、ロメフロキサシン、ノルフロキサシン、プルリフロキサシン〕や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

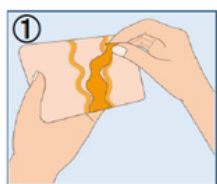
使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。通常、使用回数は、1日1回です。同時に使用できるのは最大で2枚までです。

- ・この薬を2枚貼付したときの体内の薬物濃度は、フルルビプロフェン経口剤の通常用量を投与したときと同程度に達するため、1日貼付枚数は2枚を超えて使用しないでください。
- ・この薬の使用中は、他の全身作用を期待する消炎鎮痛剤との併用は可能な限り避けてください。やむを得ず使用する場合は、医師または薬剤師に相談し、必要最小限の使用にとどめてください。

●どのように使用するか？

- ・患部に貼ってください。
- ・傷や粘膜、湿疹または発疹のある部分には使用しないでください。
- ・皮膚に傷がつかないように、ゆっくりと慎重にはがしてください。
- ・貼付した部分の皮膚の状態に注意しながら使用してください。

<ロコアテープの貼り方>



中央のフィルムだけをはがします。両端のフィルムを付けたままにしておきます。



はがした部分の面を患部に貼ります。



フィルムの片側を中央からはがしながら、シワができないように手で押さえて貼ります。もう片方も同じようにして貼ります。

●使用し忘れた場合の対応

貼り忘れに気付いた時点ですぐに貼ってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の治療は病気の原因に対して行われるものではなく、症状を軽減するために行われるものです。
- ・長期間使用する場合は、定期的に検査（尿検査、血液検査、肝機能の検査など）が行われます。
- ・副作用の発現に注意してください。過度の体温低下、虚脱、手足が冷たくなるなどの症状があらわれるおそれがあります。特に高熱のある高齢の人や消耗性疾患の人では、使用後の状態に十分注意してください。
- ・フルルビプロフェン アキセチルで、エノキサシン水和物、ロメフロキサシン、ノルフロキサシンとの併用により、まれに痙攣があらわれるとの報告があります。ニューキノロン系抗菌剤との併用は避けてください。
- ・この薬の貼付により皮膚症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- ・高齢の人は副作用の発現に特に注意し、必要最小限の使用にとどめてください。
- ・妊娠後期の人はこの薬を使用することはできません。
- ・他の非ステロイド性消炎鎮痛剤の外皮用剤を妊娠後期の人に使用し、胎児動脈管収縮がおきたとの報告があります。
- ・妊娠後期以外の妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重が増える
胃腸出血 いちょうしゅっけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み

重大な副作用	主な自覚症状
喘息発作の誘発（アスピリン喘息） ぜんそくほっさのゆうはつ（アスピリンぜんそく）	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 （スティーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発熱をしばしば伴う
意識障害、意識喪失を伴う痙攣 いしきしょうがい、いしきそうしつをともなうけいれん	意識の低下、意識の消失、顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
脳血管障害 のうけっかんしょうがい	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、発熱をしばしば伴う、体がだるい、出血が止まりにくい、寒気、顔や手足の筋肉がぴくつく、むくみ、体重が増える
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、一時的にボーっとする、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい
顔面	顔面蒼白
眼	目の充血やただれ
口や喉	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、唇や口内のただれ、喉のかゆみ、喉の痛み、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする、息切れ、息苦しい、動悸、しめ付けられるような胸の痛み
腹部	腹痛

部位	自覚症状
手・足	手足が冷たくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、突然片側の手足が動かしくくなる
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、あおあざができる、全身のかゆみ、じんま疹
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる

【この薬の形は？】

薬袋	＜表側＞  ＜裏側＞ 
形状	＜ライナー部＞ 
大きさ	10cm×14cm
におい	特異な芳香がある
識別コード	TAISHO 630（薬袋に記載）

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	エスフルルビプロフェン、ハッカ油
添加剤	流動パラフィン、スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、ポリイソブチレン、エステルガム HG、ジカプリル酸プロピレングリコール、ジブチルヒドロキシトルエン、その他 1 成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大正製薬株式会社

販 売 会 社：帝人ファーマ株式会社

(<https://www.teijin-pharma.co.jp/>)

メディカル情報グループ

フリーダイヤル：0120-189-315

受付時間：平日（当社休業日をのぞく）

9時00分～17時00分